社会福祉連携推進法人ジョイント＆リップル

令和８年度　事業計画

I. 法人基本方針

本法人は令和 5 年 3 月の設立から 3 年が経過しました 。この間、法人間の連携、利用者および職員の確保において少しずつではありますが手応えを感じています。

4 年目を迎える令和 8 年度は、これまでの活動を振り返り、点在していた取り組みを「実績」へと昇華させるフェーズと位置づけます。「将来を見据えた福祉の共創」を掲げ、2040 年～2060 年の未来を見据えたサステナブルな社会づくりに邁進します 。

II. 法人概要

法人名	社会福祉法人ジョイント＆リップル	
主たる事務所	熊本市中央区黒髪５丁目２３-１	
設立日	令和 5 年 3 月	
理事長	小笠原　嘉祐	
事業内容	将来を見据えた福祉の共創 2040 年～2060 年を見据え、様々な福祉に関わる事業体が連携し、事業を継続していくための人材育成と確保、魅力発信、福祉事業者の質向上に向けた取り組みと、重層化する福祉課題に対する新しい良質なソリューションを共創してまいります。	
企業理念	将来に渡って福祉を身近に感じるサステナブルな健康社会づくりに邁進します。 制度や ICT 化等、急速に変化する環境の中で、地域における良質な福祉サービスを、枠を超えて継続的に提供し、健康でサステナブルな社会づくりに貢献します。	
目的	本法人は、社員の社会福祉に係る業務の連携を推進し、並びに地域における良質かつ適切な福祉サービスの提供及び社会福祉法人の経営基盤の強化に資することを目的とする。	
社会福祉連携推進業務の内容	地域福祉支援業務	社員が共同で行う「地域における公益的な取組」の企画・立案、実施に向けた調整業務
	災害支援業務	社員が提供する福祉サービスの利用者の安全を確保、災害備蓄品の分担、BCP の作成及び災害時訓練
	経営支援業務	経営方法に関する知識の共有、社員の財務状況の分析・助言
	人材確保等業務	社員の人材の合同募集、社員間の人事交流、合同研修の実施等の調整業務
	物資等供給業務	災害時及び感染拡大期等における相互の物資供給、共同購入

社　員	社会福祉法人リデルライトホーム NPO 法人おーさぁ 社会福祉法人わくわく 社会福祉法人ひまわり福祉会 社会福祉法人青いりんごの会 社会福祉法人愛育学園

III. 重点項目

1. 地域福祉支援業務

- 生計困難者レスキュー事業に対する複数法人での対応
- Yuru カフェの開催：障がい者との共生社会を目指す地域イベントであり、互いを認め合い、不完全さも許容できる優しい世の中を目指す啓発の場です。
- 障がい者アートプロジェクトの推進：重度身体障がい者の「できること」を見出し、彼らが描く独自の表現を傘やシャツ、ストールなどの製品にし、社会参加を促します。

2. 災害支援業務

- 大規模災害訓練の実施:DWAT と連携し、福祉避難所立上げ訓練、初動訓練などを実施します。
- 災害派遣事業：県内、県外での災害が発生した際に、連携して人材の派遣を行います。

3. 経営支援業務

- 連携会議を開催します（1 回／２か月）
- 就労継続支援 B 型事業所おしごと体験会の開催：就労先を探す支援学校の生徒や障がい者が、自分に合った仕事を見つけられるよう事業所が集まり、実際の業務を体験できるイベントを開催（２回／年）します。
- ICT 化、AI の活用：会議録の自動化、記録ソフトからの脱却を目指し、コストダウンにつなげます。

4. 人材確保等業務

- 高齢者施設と B 型事業所の協働モデル：高齢者施設における「周辺業務（清掃・配膳・洗濯等)」を B 型事業所の利用者が担う仕組みをさらに洗練させ、介護職員が専門業務に専念できる環境（タスク・シフト）を確立します 。
- 多世代・多機能交流の深化 : 単なる作業委託に留まらず、施設保有の体育館やホールを活用した合同行事（運動会・研修会）を通じ、利用者同士の自然な交流機会を創出します 。
- プロモーションによる魅力発信：これらの協働風景を動画や SNS（Instagram、Facebook 等）で積極的に発信し、また各イベントに大学とも連携することで「多様な働き方がある福祉現場」として、新たな人材（学生・地域住民）への訴求力を高めます。
- 合同研修会の開催 : 高齢、障がい、児童施設での必須研修を合同で行うことでの生産性の向上、また、職員同士の相互交流の場を設けます。

5. 物資等供給業務

- 施設保有の体育館やホールを協働利用し、運動会や研修会等を開催します。